

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人プラナの森 ひだまりの庭				公表日	令和8年3月9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動や年齢別・特性に合わせて部屋分けを行い、スペース確保に努めている。	今後も継続する中で、子どもたちがゆったりと過ごせるスペースを確保していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	状況に合わせた職員配置をしている。子どもたちが自発的に取り組みやすい環境を提供している。	途中退職者があったものの、2月から職員1名が入職となり適切な配置数となる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	パーテーションや柵を活用し構造化に努めている。また、個室で対応出来る環境がある。	子どもたちの状況等に合わせて、構造化・環境設定を行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	療育前に掃除・環境設定を行っている。	今後も一人ひとりに合わせた環境設定を行っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	区切られた空間があり、個別的に対応出来る環境がある。	今後も状況に合わせて対応していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	日々の職員ミーティングの中で取り組んでいる。	今後も職員ミーティングで情報を共有しながら取り組んでいく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者向け評価表の意向等を把握し、全職員で情報共有をし、業務改善に努めている。	今後も職員で検討し業務改善に繋げていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々の職員ミーティングで、意見を出し合い業務改善に繋げている。	今後も職員ミーティングの時間を設け、全職員で業務改善に繋げていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	同法人の他事業所職員の意見等をもらい、業務改善に繋げている。	今後、外部評価を行えるよう前向きに検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内研修や外部の研修等に積極的に参加している。	今後も法人内研修や外部の研修等に積極的に参加出来るようにしていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	HPで公表している。	今後もHPやインスタグラムで公表していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	一人ひとりのアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。	今後も一人ひとりのアセスメントを適切に行い、個別支援計画を作成していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	担当職員が中心となり、お子さん一人ひとりの支援会議を行っている。	支援会議で理解を深め、共通理解の下療育を行っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画を共有し、担当職員を中心に計画に沿った支援を行っている。	今後も個別支援計画に沿った支援を、担当職員が中心に行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	療育記録を作成し日々のアセスメントへと繋げている。	今後も療育記録を作成し、アセスメントをしながら状況を把握していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	放課後等デイサービスガイドラインに沿って子どもたち一人ひとりの個別支援計画を作成している。	今後も放課後等デイサービスガイドラインに沿って、一人ひとりの個別支援計画を作成していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	担当職員が中心となり、職員ミーティング等で検討し立案している。	今後も子どもたちが楽しめる活動プログラムを担当職員が中心となり検討していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	法人内研修を行い、活動プログラムの工夫へと繋げている。また、職員ミーティングで意見を出し合いながら取り組んでいる。	今後も法人内研修を積極的に行い、様々な活動プログラムへと繋げていく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	うんどうメニューやボードゲーム等の小集団活動を取り入れながら、一人ひとりに合わせたプログラムを提供している。	今後も子どもたちが楽しめる小集団活動を取り入れ、活動の充実を図る。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	日々職員ミーティングを行い、支援内容の確認や関わり方、配慮点等の確認をしている。	今後も職員ミーティングを継続し、共通理解の下療育を行っていく。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	翌日職員ミーティングを行い、支援の振り返りを行っている。	支援の振り返りや情報共有を図りながら、共通理解の下療育を行っていく。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	一人ひとりの療育記録を作成し、支援の検討を行っている。	今後も療育記録を下に、支援の振り返りや検討・改善を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	50%	50%	個別支援計画更新時期に、モニタリングや会議等に参加しながら見直しを行っている。	今後もモニタリングを行い、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を組み合わせながら、支援を行っている。	今後も基本活動を組み合わせながら、一人ひとりの支援を行っていく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	子どもたちが自分で決める等、自己決定に繋がる活動を提供している。	今後も子どもたちが自己選択・自己決定が出来る活動を提供していく。
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	担当職員が資料を作成し、児発管又は主任が会議に参加している。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	送迎対応時に学校と情報共有をし、繋がりを大切に支援を行っている。	今後も必要に応じて情報を共有し、地域との繋がりを大切に支援を行う。
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	保護者と連絡調整を行っている。	今後も、保護者の皆さんにご協力いただきながら、調整を行っていく。
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	事前情報をいただいたり、担当者会議に参加したりしながら、情報共有を行っている。	今後も就学前の情報収集に努め、対応していく。
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%	必要に応じて情報の提供を保護者の同意の下、行っている。	引き続き、個々のケースに合わせて保護者の皆さんの承諾の下、情報の提供をしていく。サポートブックの活用も積極的に行っていく。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	児童発達支援センター主催の研修に参加している。	引き続き積極的に研修等に参加していく。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	今年度は開催できなかった。	来年度、11月に他事業所との交流会を予定している。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%	自立支援協議会等に参加している。	今後も積極的に参加していく。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	お帰り対応や連絡ノートで、お子さんの様子をお伝えしている。	今後もお帰り対応や連絡ノートを活用し、情報共有に努める。また必要に応じて面談を設けていく。
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ヘアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	保護者向けの研修案内を提供している。	今後も研修等の案内をしていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明を行っている。	今後も保護者の皆さんに分かりやすくご説明できるよう努める。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	見学時や契約時に意向の確認を行っている。また日々やり取りを大切に支援している。	今後も、お子さんや保護者の意向を確認しながら療育を行う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	個別支援計画を確認していただき、同意をいただいている。	今後も、説明をしながら同意をいただく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	日々のやり取りを大切に支援している。必要に応じて面談を設けている。	今後も日々のやり取りを大切に支援していく。また、積極的に面談を取り入れていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会を定期的を実施し、保護者同士の繋がりが持てるよう支援した。	今後も保護者会を定期的に開催し、保護者の同士の繋がりを大切に支援する。兄弟同士で交流する機会も検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	保護者からのご意見に対し、施設長又は主任を中心に迅速に対応している。	ご意見に対し、真摯に向き合い迅速かつ適切に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ひだまり通信やHPのブログ更新等”見てわかる”情報発信を定期的に行っている。	今後も定期的にひだまり通信やHPのブログ・インスタグラム更新を行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取扱いに留意している。	今後も個人情報の取扱いに十分に留意していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	担当職員が中心になり、一人ひとりに合わせた配慮ある関わりをしている。	今後も担当職員が中心になり、一人ひとりに合わせた対応に努める。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	地域の社会資源を使った活動プログラム等を検討し、実施している。	今後も地域での活動を取り入れる中で、地域の皆さんと繋がりが持てる事業所を目指す。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	それぞれのマニュアルを下に訓練を行っている。	今後も定期的に訓練を計画し、取り組んでいく。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	全職員でBCP研修を行った。	今後も定期的にBCP研修を取り入れ、訓練を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認をしている。また服薬変更時に、都度服薬説明書を提出していただいている。	今後もアセスメントを行いながら、状況に合わせて対応していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事前に把握の下、支援を行っている。	今後もアセスメントを行いながら、状況に合わせて対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	年間行事の下、定期的に避難訓練を行っている。	今後も計画に沿って避難訓練等を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	年間行事の下、取り組みを行っている。	今後も取り組みを続けながら、ご家族へ周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	報告書を作成・共有し、再発防止に繋げている。	今後も報告書を作成・共有し、再発防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修に参加し、虐待防止に努めている。	今後も研修に参加し、虐待防止に努める。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	25%	75%	計画書に記載している。現在該当者はいないものの、どのような場合でも身体拘束は行わない。	今後も計画書に記載していくものの、どのような場合でも身体拘束は行わない。